

鎌倉市議会議員

わ せ だ ゆ き

# 早稲田夕季のひまわり通信

2007年4月 No.12

平成18年度2月定例会・平成19年度一般会計予算等特別委員会の報告です (2月7日~3月28日)

はならないと考えます。再開発事業にしていかななくてはならないと考えます。市民の意見を反映させた駅前再開発事業にしていかななくてはならないと考えます。

民主党鎌倉市議会議員団は今年度一般会計予算と下水道、国民健康保険、老人保健医療、公共用地先行取得、介護保険の5事業特別会計の予算執行に責任を持つ立場で賛成しました。

平成19年度予算の審議は3月5日(3月22日)、予算委員長は山田直人議員。民主党市議会からの予算委員は早稲田夕季でした。



平成19年度鎌倉市予算		
一般会計	549億4,100万円	1.1%増
特別会計	530億8,260万円	1.1%増
総額	1,080億2,360万円	1.1%増

## ◇ 予算審議を終えて…

景気回復や定率減税の廃止の影響を受けて、市税収入が前年度比22億円(6.3%)増の見込みで、374億円。一般会計予算は昨年に引き続き前年度を上回り、国県からの交付金に頼らない自主財源は80%台と大きく伸びました。市債発行も赤字債を抑えて、10億円(37%)減の18億円とし、年度末には市債残高が10年ぶりに1,000億円を切る見通しとなりますが、市債の返済が将来の財政を圧迫しないよう、さらなる管理が必要です。

	内 訳	予算額	前年比率
義務的 経費 50.1%	人件費(職員の給料等)	163億円	3.6%
	扶助費(福祉の関連費)	62億円	3.5%
	公債費(借金の返済)	51億円	6.2%
投資的 経費 10%	建設事業費・用地購入費	55億円	6.4%

少子高齢化による福祉経費が増え続け、義務的経費が半分以上を占めています。市が将来のまちづくりに使える経費は全体の1割です。鎌倉駅西口や大船駅周辺、深沢国鉄跡地などの大型整備を推進していくうえで、財政の影響が心配されます。

ブログ“鎌倉つれづれ”より

## 児童相談所を視察

平成19年1月18日(木)

虐待など相談が増加をたどるなかで、多忙な児童福祉司の方から丁寧な報告をしていただき、大変勉強になりました。平成18年度12月までの鎌倉市の虐待相談件数は56件(17年度総計は26件)。その7割が実母によるものでした。

厚木児童相談所が担当していた3歳の子どもが、一時帰宅中に両親からの虐待により死亡する痛ましい事件があり、横浜市中央児相でのいじめやあやまった対応が問題になっています。

なぜそんな親の元へ返してしまったのか、実態を見ていない私たちは即座に疑問に感じるところです。しかし、一方で「親と引き離されたという経験は分断された記憶として人生に残る」という専門家の話も伺いました。

1人の児童福祉司が100人もの子どもを担当しているという現状を早く改善する必要があります。職員の方が継続して、根気強く親子に接していくことができる体制づくりがなければ、年々深刻化する問題に歯止めをかけることはできません。



【連絡先】早稲田夕季 後援会 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-12-10 TEL&FAX 0467-24-9371(※)

ホームページ: <http://www.geocities.jp/yjhxp208>

メールアドレス: [yjhxp208@ybb.ne.jp](mailto:yjhxp208@ybb.ne.jp)

あなたの声を  
お聞かせ下さい!

※不在の場合は、留守電にお名前を入れて下さい

# 平成19年度予算の3つの重点事業について市民生活に密着しているか、市民ニーズの優先度などを検証しました

## ① 少子高齢化対策の推進

**子ども** 小学3年生までの医療費助成(5億6千万円)、(仮称)深沢地域福祉センターの開設(H19.10 保育園・子育て支援センター・障害児放課後支援)、全小学校1年生に35人学級の導入、いじめ対策として「心のふれあい相談員」の配置、スクールアシスタントの配置(H19・小学校2校)

**お年寄り** 特別養護老人ホーム建設(県立大船技術高校跡地に90床)、高齢者在宅福祉サービス、成年後見制度の相談事業へ助成(由比ガ浜に窓口開設)

## ② 安全安心のまちづくり対策の充実

防災行政無線の増設、急傾斜地の防災工事(極楽寺、長谷等)、学校の補強工事(関谷小・大船小)

## ③ 市街地整備

鎌倉駅西口駅前広場整備の設計、御成小学校前道路の拡幅(1億400万円)、材木座の街区公園開設(1,500万円)、大船駅西口の歩行者デッキ設計(3億1,400万円)、野村総研跡地・複合博物館のための検討委員会を設置



# 大船駅東口市街地再開発事業について

**反対討論**  
「高さ90mのビル計画には異議あり、再検討を」

民主党市議団は大船駅東口再開発のための特別会計予算案を反対(1人退席)。早稲田夕季は会派を代表して反対討論をしました。退席した4人の議員を除いた裁決の結果、11対11の可否同数で議長の反対により否決されました。

拠点整備部の説明―平成4年に第1地区のルミネが完成。バブル経済の崩壊による見直しで、商業・住宅・公共施設が入る90mの高層ビルと、仲通商店街側に中低層の商業ビル2棟を建設する方向に変更。

地権者への報告資料には高さ90m、奥行12m(住宅部分)の図面が示されていますが、一般市民が広報や新聞報道で、ルミネの3倍も高いビルの建設が読み取れたでしょう。平成17年に議員になった私は全く認識していなかった点を深く反省しています。今年2月の都市計画審議会では、会派として「90mの高度利用は鎌倉の玄関口にはふさわしくない」と判断して反対を表明しました。

私たち議員団は、車や人で絶えず混雑する狭い駅前空間を快適な商業拠点に整備することには、当然ながら賛成です。しかし、この高層ビル計画をこのまま押し進めることは、将来の鎌倉に禍根を残すことになるかと私は考えます。

京都市は議会で、9月から市内全域で建物の高さ規制を45mから31mに引き下げたことを決定しました。行政主導で高さ90mのビルが建設されれば、今後大船駅周辺には高層ビルが乱立し、著しい景観・環境の悪化が心配されます。基本構想ができた当時とは経済状況も変化しており、景気回復による事業の採算性を検証し、マンションのグレードアップによる高さの引き下げなど検討する余地があります。鎌倉市にとって最大級のプロジェクトだけに市民参加のワークショップなどを行い、鎌倉の玄関口にふさわしい整備計画を市民と共同で再検討すべきであると、意見を述べました。



## 早稲田夕季プロフィール

- 白百合学園小・中・高校、早稲田大学法学部卒業
- 日本輸出入銀行・地元ミニコミ紙記者・自宅で学習指導
- 早稲田大学鎌倉校友会・鎌倉日仏協会・鎌倉同人会  
鎌倉ホームヘルプ協会ベルの会・鎌倉風致保存会  
逗子鎌倉の中世遺産を考える会・カトリック雪ノ下教会に所属
- ◆ 総務常任委員会委員長・鎌倉市市有財産審議会委員  
観光ナビシステム調査特別委員会委員

## ～統一地方選挙を終えて～

4月8日の鎌倉の神奈川県議会議員選挙では、仲間の深田ひとりさんが1万4550票と善戦しましたが、民主党の議席を得ることはできませんでした。多くの皆様のご支援に支えられて、深田ひとりさんは今後も鎌倉で活動を続けていきます！

